



|     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| 日時  | 2022年12月17日(土) 15時27分～17時20分       |
| 場所  | 板橋区立若木小学校 体育館                      |
| 出席者 | 14名(【地域委員】8名、【行政委員】2名、【若木小学校教員】4名) |
| 欠席者 | 1名                                 |
| 傍聴人 | 1名                                 |

### 議事内容

#### 1 委員長挨拶

委員長がオブザーバー紹介及び参席承認の確認を行った。

委員長は、以下2点について情報提供、共有を行った。

- ・震災警備訓練視察に伴う情報提供 国道17号(中山道)の交通を遮断し、環状八号線に車両を誘導する様子について映像を用いて確認した。詳細は、警視庁のwebで公開されている。

例

[https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/saigai/shinsai\\_kisei/kisei/index.files/1.pdf](https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/saigai/shinsai_kisei/kisei/index.files/1.pdf)

- ・若木小学区内のスクールゾーンの中で、特に若木ライフ前や逢坂製作所前の規制区間を1時間の規制の中で60台程度の不正通行が確認されたことを報告した。このことについては、警察署協議会を通じて、所轄警察署に取締りの重点化の対象とするよう要請したことが報告された。



#### 2 学校支援地域本部(若木応援団)より

地域ボランティアについては、若木応援団で募集している。他方、地域清掃などについて学校から声かけがあったり、PTAから声かけがあったりする。この窓口が混在しているために、お手伝いいただく方が混乱している状況がある。来年度以降、体制整理をした方がよいのではないかと提案があった。

→この点については、校長の方で音頭をとっていただき検討することとなった。

#### 3 校長より

校長がCS会議前に開催した寺子屋主宰のクリスマスコンサートについて謝辞を述べた。このほか、以下について、説明した。

##### (1) 児童らの状況

##### (2) これまでのCS委員会による依頼事項に対する回答

- ・CSだよりのリンク切れについて→対応済みと回答した
- ・特別支援教室巡回指導教員の増員の要望書→後日申請書案を提示の上、提出したいと回答した
- ・学級の様子を保護者に周知について→便りの発出とCS委員会への共有について回答した
- ・学ボラ用のメールアドレスについて→発行可能か再度確認したいと回答した
- ・アンケートの保護者フィードバックの遅い点について→原因について回答した

#### 4 CS委員会からの提言

##### 【アンケートに対する速やかなフィードバックを】

調査については、調査対象への速やかなフィードバックが原則である。しかしながら、若木小学校では、調査対象に対してフィードバックが遅いことや全くフィードバックがなされていないという課題がある。例えば、一学期に調査した内容についてフィードバックされたのは秋口である。児童らが登校しない夏季休業日などを有効に使いたい。他地区A校では7月に実施した保護者向け学校評価の結果について、9月末の学校だよりもその結果を公表している。また自由記述についても全ては紙面で取り上げ切れていないが、検討した結果等について学校としての考えを明示している。集計結果については、管見多くの学校で前年度や同じ年度内において統計的に有意な差が見られない。一方で、自由記述の中には、学校運営を改善していくヒントが隠されている場合がある。先のA校においては、「学校配信メールで当日の持ち物に関する案内が子どもが家を出てから届くので早めに連絡してほしい」や「スクール水着を撤廃してほしい。年に3回くらいしか使用しないのに毎年サイズアウトして買い替えねばならないのがもったいない。名前ゼッケンを大きく貼るのでプライベートでは使いづらい」などが挙げられていた。これに対し、学校では「配信は当日にならないようにする」ことや「水着等、教材の購入については、安全面や教育効果を考えて必要なものを厳選し、保護者の負担軽減に努める」などと回答している。A校では好意的な保護者の意見ももちろん取り上げてはいるが、学校にとっては一見必ずしも都合のよくない話も取り上げている。自由記述に正対する中で学校改善に努めてほしい。

また、運動会については調査したものの、何をどのように検討したのかが明確でない。この問題の要因について校長は、担当者が明確でないことや締切が明確でなかったことを挙げていた。なお、今回の運動会について複数の意見として挙げられていたものに、予定時間を大幅に超えた問題があったという。例えばこの問題についても、次年度どのように対応していくのか、運動会が終わった時点で検討し、次年度の計画を立ててほしい。これを先延ばしにすることで、結果としてまずどういう状況であったかが思い出せないことや、結果として仕事に追われることにつながりはしないか。運動会に限らず、学校の多忙化を解消するためにも、年度の担当者が次年度の計画素案まで作成することも考えられる。なお、今回の運動会については、閉会式の整理運動を割愛するなど学校としてできることをしていたはずである(当然、各学級等において各自整理運動をするように指導があったと考える)。こうしたことも併せて説明する中で、開会式前の保護者入場を円滑にする方法なども含めて、学校としての考えを適切に説明したい。

##### 【適切な時期に適切な情報発信を(児童編)】

一学期の保護者会においても保護者から指摘されていたが、若木小は適切な時期に適切な情報発信が行われていないことが課題である。現在、複数の学年で児童らの落ち着かない状況が発生しているが、このことについて、適切に保護者に情報発信がなされていない。落ち着きの無さや授業不成立には様々な要因が考えられる。なお、こうした状況は若木小学校に限った問題ではもちろんない。同様の学校は他にも存在する。しかしながら、問題点はこうした状況以上に、このことを保護者に発信していないことがCS委員会としては課題と捉えている。まずは、正確な情報を保護者や地域に発信し、どのような協力をしてほしいのかを明確に示す必要がある。学校は保護者や地域が支えることではじめて教員は力を発揮することができるのではないかと。我々が子どもの時の保護者に「〇〇(先生)は、私たちが育てた」と言う話を後々聞かされることがあった。教員は時として未熟であり、時として保護者、地域が育てていく必要もあるかもしれない。いずれにせよ、子どもたちの状況を第一に考え、早期に動いてほしい。

##### 【毎日授業公開】

土曜授業だけでなく、若木小は毎日授業公開している。このことは、先の展覧会案内において校長からも紙面で案内のあったとおりである。ぜひ、感染症対策をとりつつ、学校の普段の様子を複数回にわたってご確認いただくことをCS委員会としても保護者等にもお願いしたい。時には、教員が子どもを叱るシーンに出くわすこともあるかもしれない。時には、子どもと教員が楽し気に過ごすことに遭遇することもあるかもしれない。一度だけで状況判断せず、複数回参観いただく中で学校の様子をそれぞれの視点で把握いただければと考える。また、時として「読み聞かせ」だけでなく様々な活動に協力いただけると教員にとっても、さらには子供たちにとって有難いことなのではないか。

## 【校長として本来の職務へ】

現在、校長が授業を行っている状況は若木小学校全体において必ずしも望ましくない。校長は校務をつかさどり、所属職員を監督するのが仕事である。教諭は、児童の教育をつかさどるのが本来の仕事である。その職責に応じて、各々が公務、校務に従事してほしい。これまでも、CS 委員からは、「プレイヤーは楽しいが校長はプレイヤーであってはならない」ことの苦言が呈されてきた。この意味を真摯に受け止め、学校運営の軌道修正に入りたい。確かに、一学期課題のあった学級に校長及び2名の教員を配置することで一定の改善が見られた部分があるかもしれない。一方で、全体を俯瞰する校長が不在となり、結果として他の学級の乱れが看過されているのではないかと指摘されても、否定しきれないのではないだろうか。児童らの教育は教諭に任せ、「教育課程の管理」、「人的管理」、「物的管理」、「金銭的管理・総務」など本来業務に従事したい。このことは、教員の意見としても上がっていると聞く。また、教育課程については次年度に向けて、各校動きだしているところである。若木小学校においても同様と考える。先のA校では校長が11月の学運協(板橋区のCS委員会に相当)において、各学年どのような時期にどのような行事を行っているのか一覧表に整理し精選を検討していることを明らかにした。教員が忙しすぎるのであれば、まずは学習指導要領上示された最低限の内容をしっかりと取り組むことにしてはどうだろうか。各教科の見方・考え方、核になる部分を大切にすることで、学校のスリム化を図ってほしい。

くれぐれも総花的な教育課程は避けたい。以前、「東京方式」と言われた教育課程が一部東京に存在した。行事を行うために本来「行事」時数としてカウントすべきところを、教科の授業時数として読み替えながら「授業をやったことにする」手法である。地方の教員らは「東京の教員ができる、できるといって何でも読み替えながら取り組むから地方の学校は困るんだ」という声もあったほどだ。つい数年前にも、中学校保健体育の未履修問題があった。さらにさかのぼれば、毛筆書写の未実施など(3年生以上年間30時間程度実施することになっている)、これまでも学校は教育課程の精選を適切に行わず、歪みを生み出していた学校が存在したのは報道にもあるとおりである。いわゆる学力調査や体力調査をはじめとして、様々なデータを学校は保有している。慣行や思い込みにとらわれず、若木小の子どもたちにぜひ必要だというものに絞りこんだ教育課程を編成してほしい。

## 【適切な時期に適切な情報発信を(その他編)】

若木小学校では運動会の写真を業者販売していない。先日、他校の写真屋と話をすることで、運動会の写真の枚数が多く、販売用に提示するのに時間がかかっているという話を聞いた。若木小学校はどうなっているのか確認したところ、販売していないとのことであった。このあたりについても、特に一年生保護者には事前に示しておいたほうが良かったのではないかと考える。販売をする方向に切り替えるか否かは、次の問題として、カメラマンを入れて撮影していれば、当然スナップ写真として販売するものかと思いはしないか。なお、校長の話では、「5,6年宿泊行事」「社会科見学」「全校遠足」「音楽会」「学芸会」は販売するものの、「運動会」については写真屋の都合で販売していないということであった。

このほかにも、水泳指導について、コロナ禍の影響により結果的に一学期のみとなった。このことを問題視しているのではなく、二学期は水泳指導が無いことを早めに知らせるなどではできなかったのか。これまでも子供の状況以外の面においても説明不足の感が否めない。学校として気付くことができなくとも、指摘を受けたら少なくとも知らせる、次年度に生かすことを期待したい。

## 5 結びに

CS委員は1年任期である。既に3/4の月日が経過した。これまでも、学校の状況を冷静に見極め、教員とは異なる視点で校長の相談や、CS委員会としての提言を行ってきた。以前、ある地区の校長に「学校を変えるには3年くらいかかるのではないかと話したところ、「そんなに時間をかけるべきではない。私は1年で変えていくつもりでやっている」と返された。若木小を見る限り、CS委員会からの言葉が必ずしも学校に届いていないのではないかと不安に感じることもある。本号では、前回の若木小学校の教員に望むものにつき、若木小学校が緊急に対応すべきものを提言としてまとめた。校長だけでなく教員一人一人がその重みを受け止めてほしい。

一方、今年度評価できる点として、週時程表の見直しを行ったことが挙げられる。これまで特別時程など複数が存在し、こどもたちのルーチンな生活の妨げとなっていた。時間を守らせるために、毎日子どもたちに同じ時程で過ごさせるという改善は有意義であったと考える。また、学校のきまりを整理し、全職員で共通理解を図ったことも評価できる。今後は、ルールそのものについて児童会を通じて見直していくことも検討していると聞く。今回、細かなルールを網羅的に列挙することを改め、

例示とした点も子どもたちに考えさせる意味で有意義な改善だったのではないか。さらに子どもたちを巻き込んだ改善に期待したい。

なお、学校が抱える問題には、保護者や地域の皆様のお力添えが必要な部分もある。ご協力を賜れば幸いである。これまでも、学校支援地域本部(わかぎ応援団)を中心とした学校ボランティア活動や、前述の寺子屋主宰のクリスマスコンサートなどをはじめとして、実に様々な方が若木小を支えていただいている。これは若木小の魅力であり、力であるとする。このほかにも、毎朝ウサギ小屋のうさぎをお世話して下さる保護者の方もいる。気づいたこと、できることでこれからも子供たちのために若木小を支えていただければと考える。

繰り返しになるが、学校が問題点を抱え込むのではなく、保護者に積極的に情報発信する中で、協力を仰いでほしい。また、あるCS委員からは、教員が発信するだけでなく、子どもが発信する場があってもよいのではないかと話もあった。こうしたアイデアを柔軟に生かしてほしい。またさらに、コロナ禍で異学年の交流に制限が加えられてきたが、ある委員からは6年生児童に中学校の授業をモデルとして見せてはどうかという提案もあった。教員が良い授業を見るのが必要のように、子どもたちもモデルとなる生活を見る機会があってもよいのではないかと。

## 6 次回以降の予定

学校側の原案をもとに、一部日程を修正する中で、以下のように決定した。

~~第1回 令和4年5月21日(土) 14:00～15:30 ※AM 土曜授業~~

~~第2回 令和4年7月22日(金) 18:00～19:30 ※前期評価について~~

~~第3回 令和4年8月31日(水) 13:30～15:00 エリア合同 15:15～~~

~~第4回 令和4年12月17日(土) 14:00～15:30 ※学校評価 ※AM 土曜授業~~

第5回 令和5年2月7日(火) 18:00～19:30 ※次年度の経営方針について承認確認

|             |  |            |    |
|-------------|--|------------|----|
| <b>配布資料</b> | A【学校側配布資料】<br>令和4年度 第4回若木小コミュニティ・スクール委員会 次第<br>令和4年度 教員学校評価<br>令和4年度 板橋区立学校経営計画表・自己評価表・学校関係者評価表<br>B【委員等配布資料】<br>スクールゾーンに関する調査(事前配布) |            |    |
| <b>作成者</b>  | CS委員長  | <b>確認者</b> | 校長 |